

市長発言要旨

【冒頭】

副市長人事について

私から冒頭に、副市長人事について報告があります。空席であった副市長について、吉田晋平建設部長を充てる方針を固め、2月3日に開催される市議会の臨時議会に提案することにいたしました。4月1日付けでの就任を予定しております。

吉田氏の経歴は、1965年7月生まれの59歳で、東北学院大学工学部を卒業後、昭和63年に米沢市役所に入庁。建設部、企画調整部などでの職務を経験し、令和3年4月から建設部長を務めています。その人格や人柄、見識において、私の目指す米沢市政の副市長として最適任であると確信しております。特に新しい産業団地の建設、万世橋成島線などの道路計画、まちづくり再生の分野において優れた能力を持っており、庁内でも人望のある方であると認識しております。

【回答事項】

①「知事選の結果を受け、5期目への期待と注文はありますか。」に対する回答

選挙結果については、吉村知事の圧勝となり、多くの県民の負託を受けられたと考えています。投票率が高くなかったことは残念ですが、多くの県民の信任を得ての5選は、山形県や本市を含む置賜にとって最適な結果であったと受け止めています。特に、吉村知事が公約に掲げてきた本市に関する事項として、新幹線に関わるトンネル建設、新産業団地建設の支援、置賜中高一貫校の本市への整備などがあり、本市にとって非常にありがたいことだと思っています。山形県全体としては災害からの復旧と復興が急がれますが、住みやすく、人が集まる山形県の実現に向けて邁進していただくことを期待しており、これまで以上に吉村知事との連携を深めてまいりたいと考えています。

②「キムラ閉店、菱門橋損壊で何か進展はありますか。」に対する回答

はじめに、松が岬公園内の菱門橋の損壊について、その後の進展をお伝えします。1月20日に、米沢商工会議所、米沢観光コンベンション協会、上杉松岬両神社信仰会、上杉文化エリア懇話会の4団体による「菱門橋早期復旧に関する要望書」が提出されました。状況については大きな変化はありませんが、私としては早期の復旧が重要と認識しています。一方で、損壊の原因を含めた詳細調査が必要であり、復旧を検討する上でしっかりとした計画を策定しなければなりません。相当な期間を要するものと考えますが、現在、コンサルタント会社に詳細調査を依頼しており、担当課で復旧に向けた施工方法やスケジュール等について調整を進めています。

次に、株式会社キムラの事業停止に伴う対応状況についてですが、配付資料の項目3「今後の新たな取組等について」ご報告いたします。まず、移動手段を持たない市民への買い物支援として「バス無料の日」を実施します。2月から毎週水曜日と金曜日に、市民バス「万世線・市街地循環路線・学園都市線」で、通勤・通学に影響のない時間帯を除いた便を対象とします。これにより、高齢者や車を持たな

い方々の買い物支援を行いたいと考えています。

次に、米沢栄養大学、米沢女子短期大学の学生を対象とした「バス無料券の配布」を実施します。2月から3月までの期間に合計20枚の無料券が使用でき、対象路線は市民バス「万世線・市街地循環路線・学園都市線」となります。希望者には大学を通じて1月中に配布いたします。対象となるのは678名です。

さらに、株式会社キムラと取引のあった企業に対し、米沢市商工業振興資金緊急特例利子補給補助金を創設します。これは実質的な無利子融資を受けるため、米沢市商工業振興資金融資制度の利子部分に補助を行うものです。2月の臨時会において、同補助金の債務負担行為の補正予算案を計上します。

最後に、消費者と事業者双方への支援という意味で、株式会社キムラの事業停止によって影響を受ける事業者が連携して行うイベントへの支援を行います。「米沢食の市場」と「米沢牛肉タウンえきまえ元気プロジェクト」の2つの取り組みがあります。「米沢食の市場」では、地元食品関係事業者の営業損失や生鮮食品の購入機会の減少による食文化の危機を乗り越えるため、2月中旬から毎週土曜日の午前9:00から12:00まで、米沢地方卸売市場（魚市場）で、魚、野菜、果物、地元加工食品などを販売します。また、「米沢牛肉タウンえきまえ元気プロジェクト」では、米沢駅前のキムラ駅前店が閉店した影響で人通りが減少している駅前地域を活性化させるために、米沢牛を取り扱う飲食店を中心に観光客や市民へのPRを行い、上杉雪灯籠まつり合わせたイベントも実施します。具体的には、飲食店を中心とした駅前地域のパンフレット作成と配布、上杉雪灯籠まつりにおける米沢駅前での来場者への無料振る舞いなどを行い、駅前の賑わいづくりを進めていきます。

本市としましては、以上のことを含め、できる限りの支援を行ってまいります。